

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

エントリー学校名：長崎県諫早市立大草小学校

活動名：個を大切にしたいカリマネ ～表現力向上プロジェクトを通して～

解決すべき課題：

- ・本年度完全複式になり、複式授業の充実が急務であり、小規模校ならではの個別学習や地域との連携等本校独自の強みを伸ばしていく必要がある。
- ・相手にわかるように伝える力や相手が何を伝えたいかを考えながら聞く力等表現力が弱い児童が多い。
- ・小さなテリトリーでの人間関係が主で、他の人とのかかわり方が弱い。

目標・方針：

○複式授業の充実と小規模校の良さを生かした表現力向上を目指す。

- ① 深い学び合いにつながる自主的なガイド学習の推進
- ② 個に応じた表現力（発表・記述・語彙力）の育成→本校独自のカリキュラムマネジメントの再構成
- ③ 担任の指導力向上に向けた校内研修
- ④ 地域の教育力を生かす学校教育の構築

活動内容：

- ① 発達段階に応じたガイド学習の徹底・・・ガイド役の進め方ルートマップの活用、全員発言、少人数討議
- ② 個人カルテ活用により表現力（話す・聞く）向上を図る。
- ③ 研究主任をリーダーとして全職員で全児童を育てる授業づくり及び学力向上及び表現力向上プロジェクト
- ④ 地域の人とのかかわりを授業に生かし、子どもの主体性・表現力を育む
- ⑤ 児童のゴールの姿を明確にした教育課程（表現力向上）の編成

活動の成果：

- ① 学習のルートマップ等がガイド役に有効に働き、複式授業における主体的に学ぶ姿やみんなで自力解決に向かう学びの深化を多くみることができた。
- ② 発達段階に応じた「話す」「聞く」の指導チェックカルテを活用し、個々の弱点を明らかにし、教師の個人指導を行うことでスキルアップを図ることができた。
- ③ 研究推進委員会を組織し、研究の方向性や研究主任の思い等共有し、バックアップ体制を整え、全職員へ浸透させることで、児童の学力向上等全職員で指導を補完し合い教育活動を進めることができた。
- ④ 異学年のみならず、違う校種や外国人、地域の人たちとかかわりながら、他者を理解し、共感し、互いに意思の疎通を図ろうと自分の考えを自ら表現できる児童が増えてきた。
- ⑤ 大草発表会のゴールの姿に向かってどのような能力を育てていくか各教科、領域を横断的につなげ、その時々で最良の指導ができるように『大草スタイル』（表現力育成）の教育課程編成を行うことができた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 本校（小規模校）ならではの、本校（小規模校）でしかできない教育の構築を進めた。
- 個に特化したチェックシートカルテやルートマップ活用の授業形態の確立
- 人とのかかわりを大切に、児童の人間形成によき影響を与える教育活動を多く仕組んだ。
- 本校独自の表現力育成にしばった教育課程別葉の編成ができた。
- 学校評価だけでなく、表現力チェック、学力調査、i-check（東京書籍）等客観的評価指標を活用した。

PLAN

- ① 課題把握（表現力の弱さ）
- ② 学校教育目標の設定
- ③ 校内研修とのタイアップ

DO

- ① 表現力向上プロジェクト
 - ・複式授業の充実
 - ・人とのかかわり
 - ・個に特化
- ② 大草スタイル（教育課程）の編成

CHECK

- ① 表現力個人カルテ
- ② 学校評価
- ③ 学力調査
- ④ i-check

ACTION

学校経営のキーワード
 目指せ！四感王！「実感」「共感」「感動」「感謝」

大草っ子プロジェクト

令和元年度 大草運動計画

【話す・聞く】指導チェック表（教師用）

6年 算数学習ルートマップ 5月15日（金）第14回
 ○単元名 「数量やその関係を式に表そう」

R2年 全国・県学力 NRT結果

i-check分析結果（ソーシャルスキルのみ）